

彩
春一番、鹿島立ち

鹿島の祭頭囃し

令和7年
3月9日(日)



3/9 祭頭囃しタイムスケジュール

18:00	16:30	15:00	14:30	14:00	13:30	13:00	12:30	10:00	時間
春季祭参列	鹿島神宮内一斉囃し	踊り披露(うちだや前)	大町通り囃し開始	角内通り囃し開始	踊り披露(仲町通り)	仲町通り囃し開始	出陣(神宮駐車場)	祭頭祭参列	
									山郷 (大総督) 松本 奏裕 (入組数) 15組 (人数) 約400名

お問合せ先

鹿嶋市観光協会 ☎0299-82-7730
http://www.sopia.or.jp/kashima-kanko/

鹿嶋神宮 ☎0299-82-1209
http://www.kashimajingu.jp/wp/

鹿嶋市商工会 ☎0299-82-1919
http://www.sopia.or.jp/shokokai/

鹿嶋市商工観光課 ☎0299-82-2911
http://city.kashima.ibaraki.jp/

神栖市教育委員会 ☎0299-77-7495

鹿嶋市教育委員会 ☎0299-82-2911



これまで同日に斎行されておりました祭頭祭、祭頭囃し、春季祭は、**令和2年**より下記の通り斎行いたします。

- ◆祭頭祭…【3月9日】(日程変更なし)
- ◆祭頭囃し・春季祭
 3月9日が土・日曜日の場合…【3月9日】(日程変更なし)
 3月9日が平日の場合 ……【次の土曜日】

鹿島神宮 周辺 まちあるきマップ

鹿島神宮めぐり

- 大鳥居**
東日本大震災で倒壊した鳥居に代わり、平成26年6月に竣工しました。神宮の森で数百年育まれた天然杉四本が使用され、その素朴で雄大な姿は震災復興のシンボルとして親しまれています。
- 楼門**
寛永11年(1634)、徳川頼房公が奉納したこの門は「日本三大楼門」の一つ。緑の中にひととき朱色が鮮やかです。なお「鹿島神宮」の扁額(へんがく)は東郷平八郎元帥の直筆によるものです。
- 本殿**
社殿は元和5年(1619)徳川秀忠公より奉納されたもので、桃山期の極彩色が華やか。本殿・幣殿・拜殿・石の間のいずれも国の重要文化財の指定を受けています。社殿の背後にある杉の巨木は根廻り12m樹齢1,200年と推定されるご神木です。
- 鹿園**
園内遊ぶ鹿たちは、「神のお使い」。現在の鹿は、鹿島から移された春日大社(奈良)の鹿の子孫を再び受け継いだものです。「アントラー」とは鹿の枝角のこと。Jリーグ「鹿島アントラーズ」の名もここ由来しています。
- 奥宮**
慶長10年(1605年)、徳川家康が関ヶ原の戦勝のお礼に本殿として奉納されました。二代將軍、徳川秀忠による社殿造営の際に現在の処に引き遷したもので、重要文化財に指定されています。

七福神めぐり

にこやかな表情の七福神の石像が通りに並んでいます。中には握手を求めるように右手を差し出しているものも。縁起のいい神様たちにごあいさつして回ると、福を招きます。

- ① 布袋
- ② 福祿寿
- ③ 寿老人
- ④ 弁才天
- ⑤ 大黒天
- ⑥ 毘沙門天
- ⑦ 恵比寿

鹿島歴史めぐり

- 塚原ト伝の像**
宮本武蔵との「なべぶた試合」の話で知られる塚原ト伝(1489~1571)は、鹿島新当流の開祖。その偉大な功績を記した碑と銅像が剣聖塚原ト伝誕生五百年を記念して建立されています。
- 根本寺**
訪れています。その様子は「鹿島紀行」にも記されており、境内には「月はやし梢は雨を持ちながら」などの句碑も建てられています。
- 鎌足神社**
天智天皇に仕え、645年大化の改新を断行した藤原鎌足を祀る神社です。歴史書「大鏡」には、鎌足は鹿島神宮の鎮座する地で出生したとあります。
- 鹿島城山公園**
鹿島神宮駅から徒歩5分の距離にあるこの公園は、市民の憩いの場。北浦を望む場所には鹿島城跡の碑も建てられています。
- 一之鳥居と北浦の夕日**
大船津はその昔鹿島神宮参拝の玄関口として賑わい、水上に建つ一之鳥居は景観が親しまれていました。その往時をしのび平成25年に建てられたのが現在の一之鳥居です。
- 要石**
地震を起こす大なまずの頭を押さえているといわれる霊石です。いくら掘っても全容は掘り尽くせないといわれ、「鹿島の七不思議」の一つにも数えられています。
- 御手洗池**
この池は、古くから神職のみそぎの場で、大人が入っても子供が入っても水面が胸の高さを越えないといわれ、「鹿島の七不思議」の一つとなっています。公園も整備され、市民の憩いの場になっています。

